

2024年12月期

第2四半期決算説明資料

株式会社JMC

証券コード: 5704

2024.8.28

- 1** ハイライト
- 2** 決算概要(全社)(2024年12月期 第2四半期)
- 3** 決算概要(セグメント別)(2024年12月期 第2四半期)
- 4** 施策の進捗状況(2024年12月期 第2四半期)
- 5** 業績予想(2024年12月期)
- 6** トピックス
- 7** Appendix

1 ハイライト

1

【**全社**】 **売上高: 減収・営業利益: 減益**

売上高: **1,618百万円** ▲8.0% ▲140百万円 (前期: 1,759百万円)
営業利益: **68百万円** ▲76.9% ▲230百万円 (前期: 299百万円)

(要因) 国内自動車メーカー各社で顕在化した認証不正問題を発端とする開発スケジュールの遅れが想定よりも長期化

2

【**3Dプリンター事業**】 **減収・減益**

売上高: **296百万円** ▲11.8% ▲39百万円 (前期: 336百万円)
営業利益: **55百万円** ▲34.7% ▲29百万円 (前期: 85百万円)

(要因) 3Dプリンターは苦戦。**HEARTROID**(ハートロイド)は前年並みにとどまる。

3

【**鑄造事業**】 **減収・減益**

売上高: **1,033百万円** ▲15.3% ▲186百万円 (前期: 1,220百万円)
営業利益: **42百万円** ▲86.5% ▲276百万円 (前期: 319百万円)

(要因) **EV関連市場の活性化**に伴い、大型・高難度の試作案件が増加も、市場環境の急速な不透明化により受注量が減少

4

【**CT事業**】 **増収・増益**

売上高: **287百万円** +42.2% +85百万円 (前期: 202百万円)
営業利益: **224百万円** +68.8% +91百万円 (前期: 133百万円)

(要因) 新たな顧客群での需要獲得が順調に進捗

2 決算概要(全社)(2024年12月期 第2四半期)

業績予想の修正

2024年12月期 2Q

【修正要因】

試作案件の減少

国内自動車メーカー各社で顕在化した認証不正問題発覚
→ 開発スケジュールの大幅な繰り延べや見直しが多発

【市況の見通し】

- ・主要顧客である自動車業界の試作・開発市場を中心に足元の受注環境が厳しい状況はしばらく継続
- ・開発スケジュールの大幅な繰り延べや見直しが継続
→ 当社業績には「後ろ倒し」で反映される見込み

【対応策】

- ・費用の圧縮等、各種合理化施策に着手

(業績拡大に向けて)

- ・人材の確保、設備投資の実施
- ・新たな事業領域の拡張

単位:百万円	2024年12月期 前回発表予想 (A)	2024年12月期 今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)
売上高	4,000	3,180	▲820	▲20.5%
営業利益	580	115	▲465	▲80.2%
営業利益率	14.5%	3.6%	-	▲10.9pt
経常利益	572	122	▲450	▲78.7%
経常利益率	14.3%	3.8%	-	▲10.5pt
当期純利益	380	81	▲299	▲78.7%

決算概要(全社)

2024年12月期 2Q

減収・減益

【3Dプリンター事業】**減収・減益**:3Dプリンターは苦戦。**HEARTROID**(ハートロイド)は前年並みにとどまる。

【鑄造事業】**減収・減益**:EV関連市場の活性化に伴い、大型・高難度の試作案件が増加も、市場環境の急速な不透明化により受注量が減少

【CT事業】**増収・増益**:新たな顧客群での需要獲得が順調に進捗

単位:百万円	2023年12月期 2Q	2024年12月期 2Q	増減率	増減額
売上高	1,759	1,618	▲8.0%	▲140
EBITDA (利益率)	426 (24.3%)	247 (15.3%)	▲42.0%	▲179
営業利益 (利益率)	299 (17.0%)	68 (4.3%)	▲76.9%	▲230
経常利益 (利益率)	301 (17.1%)	76 (4.7%)	▲74.7%	▲224
中間純利益 (利益率)	188 (10.7%)	49 (3.0%)	▲73.8%	▲138

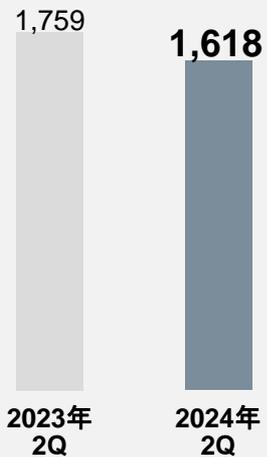
決算概要(全社)

2024年12月期 2Q

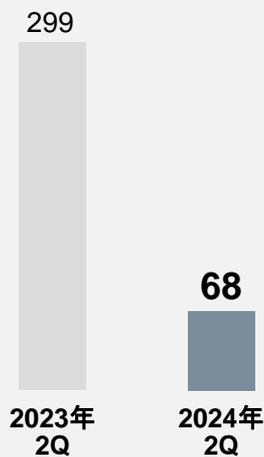
減収・減益

単位:百万円

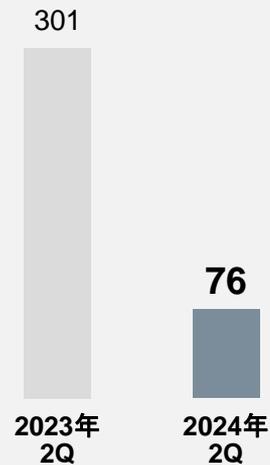
売上高



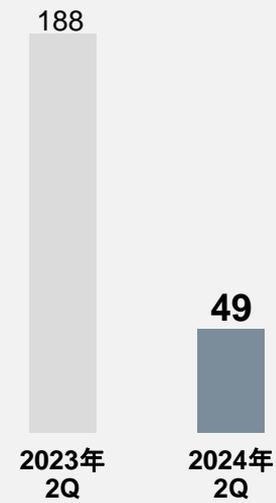
営業利益



経常利益



中間純利益



損益計算書

2024年12月期 2Q

減収・減益

単位: 百万円	2023年12月期 2Q	2024年12月期 2Q	増減額	増減率
売上高	1,759	1,618	▲140	▲8.0%
売上総利益	755	546	▲209	▲27.7%
売上総利益率	42.9%	33.8%	-	▲9.2pt
販売費及び一般管理費	456	477	+21	+4.6%
営業利益	299	68	▲230	▲76.9%
営業利益率	17.0%	4.3%	-	▲12.7pt
経常利益	301	76	▲224	▲74.7%
経常利益率	17.1%	4.7%	-	▲12.4pt
中間純利益	188	49	▲138	▲73.8%

貸借対照表

2024年12月期 2Q

単位:百万円	2023年12月期	2024年12月期 2Q	増減額	増減率
流動資産	1,562	1,551	▲11	▲0.7%
固定資産	3,418	3,321	▲96	▲2.8%
資産合計	4,980	4,872	▲107	▲2.2%
流動負債	1,128	1,012	▲116	▲10.3%
固定負債	990	930	▲60	▲6.1%
負債合計	2,119	1,942	▲176	▲8.3%
純資産合計	2,861	2,930	+69	+2.4%
自己資本比率	57.4%	60.1%	-	+2.7pt

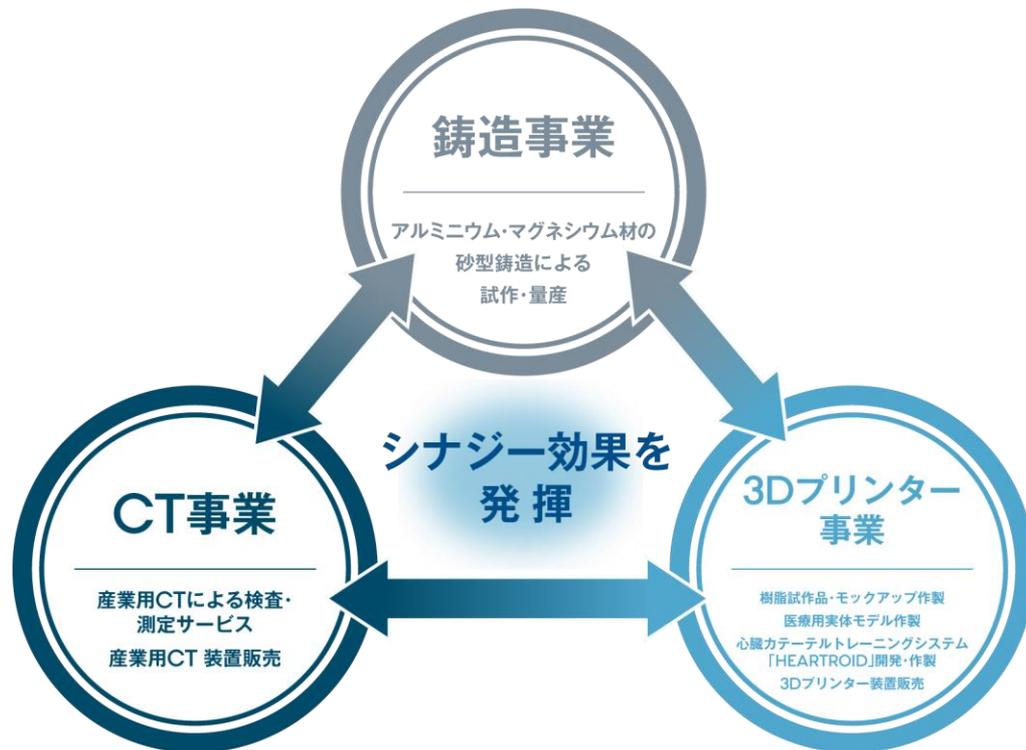
キャッシュ・フロー計算書

2024年12月期 2Q

単位:百万円	2023年12月期 2Q	2024年12月期 2Q	増減額	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	344	649	+305	+88.6%
固定資産の取得による支出	▲590	▲66	+523	-
その他	▲12	0	+12	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲602	▲65	+536	-
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	▲50	▲50	-
長期借入れによる収入	550	100	▲450	▲81.8%
長期借入金の返済による支出	▲120	▲143	▲22	-
リース債務の返済による支出	▲58	▲38	+20	-
その他	▲1	12	▲14	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	368	▲118	▲487	▲132.2%
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	110	465	354	+320.6%
現金及び現金同等物の期首残高	306	303	▲3	▲1.1%
現金及び現金同等物の期末残高	417	768	▲351	+84.2%

3 決算概要(セグメント別)(2024年12月期 第2四半期)

3事業部体制(鑄造事業、3Dプリンター事業、CT事業)による
シナジー効果を発揮し、事業拡大を実現します。

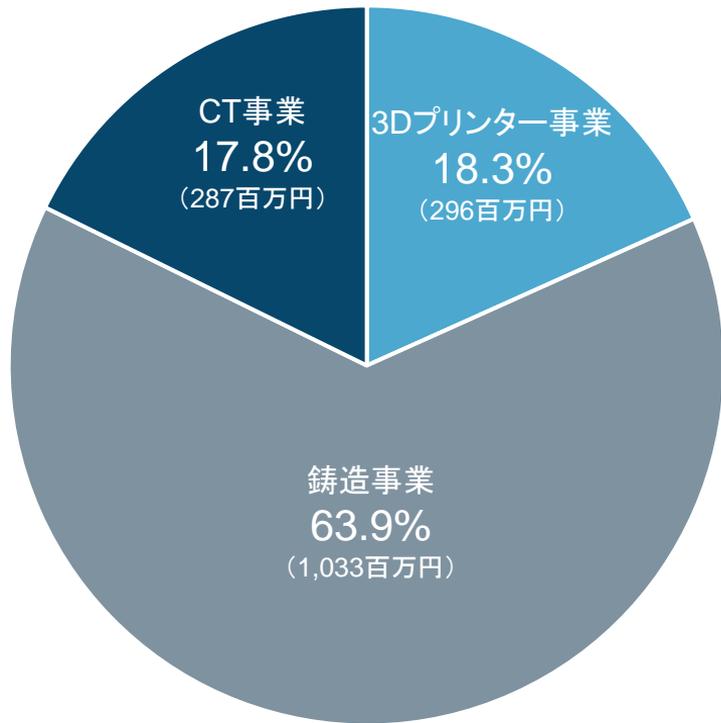


セグメント別比率

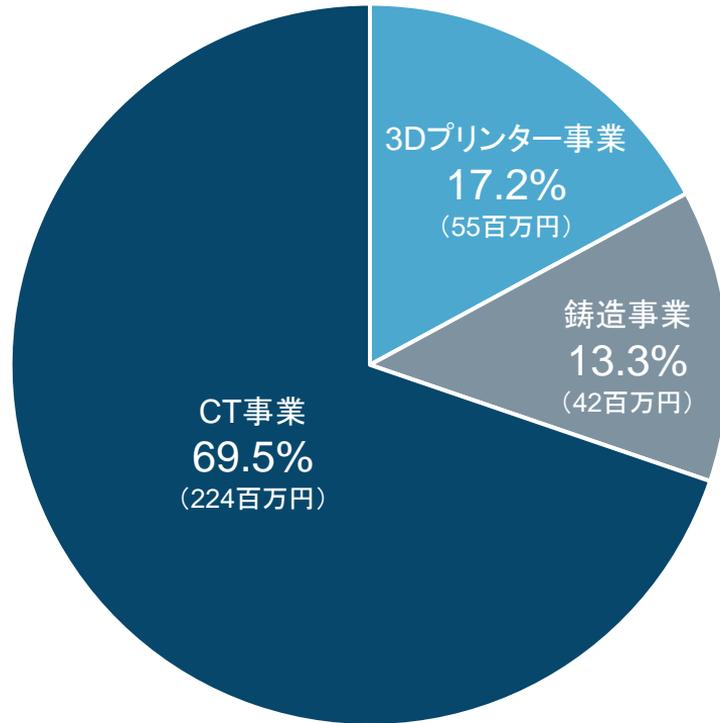
2024年12月期 2Q

売上高：鋳造事業が6割強とやや減少
営業利益：CT事業が約7割と割合急増

売上高



営業利益



決算概要(セグメント別) 3Dプリンター事業

2024年12月期 2Q

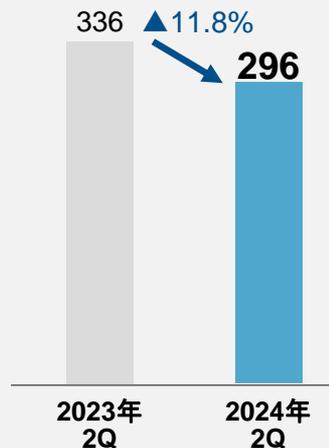
減収・減益

3Dプリンターは苦戦。HEARTROID(ハートロイド)は前年並みにとどまる。

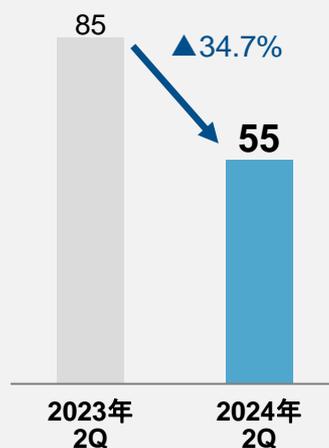
単位:百万円	2023年12月期 2Q	2024年12月期 2Q	増減率	増減額
売上高	336	296	▲11.8%	▲39
営業利益	85	55	▲34.7%	▲29

単位:百万円

売上高



営業利益



要因・その他

【HEARTROID】: 前年並みにとどまる

- ・国際会議・展示会へ向けた営業人員の増強
→2Qまでの売上につながる案件は少なかった
- ・展示会・学会での積極的な販促活動
→北米地域向け輸出案件を中心に堅調に推移

【3Dプリンター】: やや低調な推移

- ・出力サービスの大型案件: 減少
- ・**当社によるコンサルテーション案件: 増加**
→JMCが窓口となり、顧客の試作案件をトータルでサポート
造形品の複雑化により、納期が長くなるものの、
ワンストップサービスによる利便性を顧客に提供

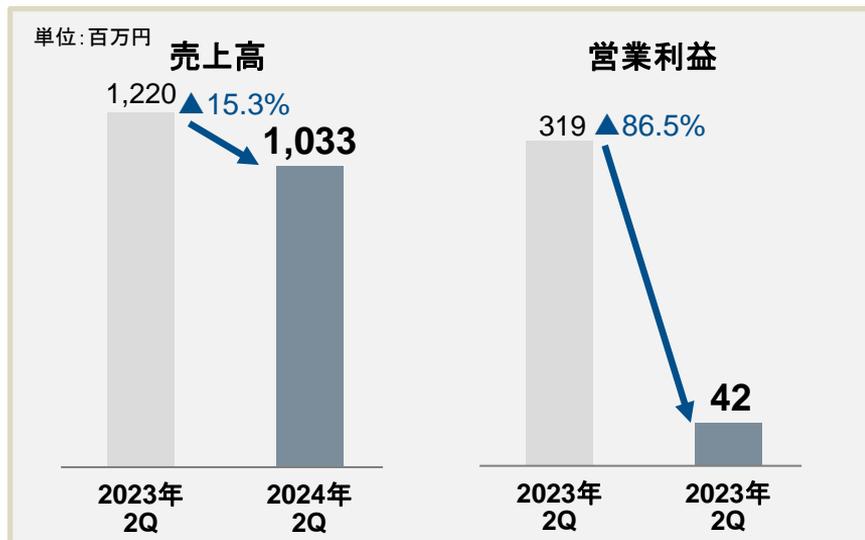
決算概要(セグメント別) 鑄造事業

2024年12月期 2Q

減収・減益

EV関連市場の活性化に伴い、大型・高難度の試作案件が増加も、市場環境の急速な不透明化により受注量が減少

単位:百万円	2023年12月期 2Q	2024年12月期 2Q	増減率	増減額
売上高	1,220	1,033	▲15.3%	▲186
営業利益	319	42	▲86.5%	▲276



要因・その他

- ・EV関連市場: **活性化**
→ **大型・高難度の試作案件**の増加
- ・市場環境の急速な不透明化による受注量の減少
→ 自動車メーカー各社の認証不正問題などを発端とした開発スケジュールの繰り延べなどの影響
- ・新ブランド「PZ」: 最高の品質と技術を達成するためのすり合わせに想定よりも時間を費やす
- ・ギガキャスト対応鑄造設備の導入により、大型鑄造品を受注

決算概要(セグメント別) CT事業

2024年12月期 2Q

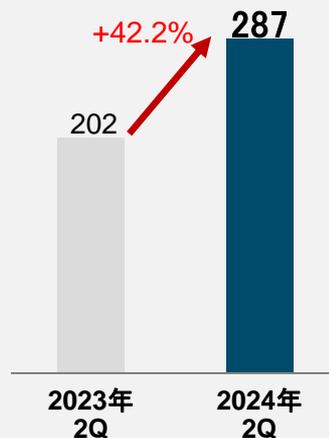
増収・増益

新たな顧客群での需要獲得が順調に進捗

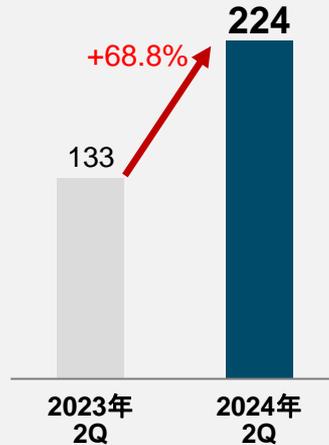
単位:百万円	2023年12月期 2Q	2024年12月期 2Q	増減率	増減額
売上高	202	287	+42.2%	+85
営業利益	133	224	+68.8%	+91

単位:百万円

売上高



営業利益



要因・その他

- ・次世代蓄電池の研究開発分野における産業用CT: **認知拡大**
- ・積極的な営業活動により**新分野**の顧客獲得に成功
-従来のモータースポーツ分野に加え、バッテリー分野の顧客獲得
- ・展示会顧客への積極的な周知啓蒙
- ・国内メーカーへのCT装置販売

4 施策の進捗状況(2024年12月期 第2四半期)

施策の進捗状況(2Q)

2024年12月期 2Q

施策

進捗状況(2Q)

3Dプリンター事業	■ 心臓カテーテルシミュレーター「HEARTROID」の認知拡大	■ 【海外】当初計画通り、医療学会・展示会への積極的な参加・出展によるデモンストレーションを実施 北米・南米、欧州を中心に脳血管に関するモデルなど、販路の拡大を推進 ■ 【国内】「HEARTROID PROJECT」が、 文部科学大臣表彰で科学技術賞 (開発部門)を受賞
■ 量産部品への対応	■ 第8期棟での生産品目拡大	■ 中空形状の自動車パーツ量産開始 ■ FA量産部品の所要不透明化に対して、電動自動車を中心に活発化する部品大型化ニーズの本格的な捕捉に着手 ■ 生産性の向上:柔軟な生産体制の構築に向けた設備導入の検討
■ 自社プロダクトの強化	■ 高収益モデル化へ	■ レストアの新たなブランド『PZ』を立ち上げ →付加価値を高められるラインナップの開発・販売を推進 ■ 販売活動の強化 ■ 展示会を契機とした案件の獲得 ■ サービス領域の分散化

5 業績予想(2024年12月期)

業績予想(2024年12月期)

2024年12月期 2Q

(予想)

減収・減益

国内自動車メーカー各社で顕在化した認証不正問題により、開発スケジュールの大幅な繰り延べや見直しなどが相次いだ結果、試作案件の減少を余儀なくされ、通期業績見通しを下方修正

単位:百万円	2023年12月期 (実績)	2024年12月期 (予想)	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)
売上高	3,640	3,180	▲460	▲12.6%
営業利益	536	115	▲421	▲78.6%
営業利益率	14.7%	3.6%	-	▲11.1pt
経常利益	533	122	▲411	▲77.1%
経常利益率	14.7%	3.8%	-	▲10.9pt
当期純利益	363	81	▲282	▲77.7%

(2023年12月期に発表した業績予想から修正。)

6 トピックス

HEARTROIDの世界各地へのデモンストレーションおよび戦略

「EuroPCR 2024」をはじめとした、医療学会・展示会への参加・販促活動
インドの新たな顧客獲得へ向けた取り組み
南米エリアへの拡販に向けた新規顧客開拓の実施



・Euro PCR

「Euro PCR」は、毎年フランス・パリで開催されている心臓病治療分野において世界を代表する学術会議。

世界各地から1万人を超える医療関係者が「Euro PCR」に集結し、医療従事者同士による情報交換が行われている。

- ・第2四半期までは人員増強等もあり、コスト先行の厳しい結果
- ・費用対効果を見極めた出展計画により、確実な成長戦略を描く

インターモールド名古屋2024へ出展

当社の専務取締役であり、鑄造の専門家でもある鈴木浩之による講演を開催
従来の砂型鑄造のイメージを刷新する当社の取り組みを紹介



・INTERMOLD名古屋2024

2024年6月26日(水)から6月28日(金)までの3日間にポートメッセなごやで開催された「INTERMOLD名古屋2024」に出展。ギガキャスト試作」「補給部品」をテーマとした砂型鑄造技術や、産業用CTスキャンによる自動車向けセンサー、バッテリーの検査事例などをご紹介します。

鑄造事業の設備投資



- ・砂型鑄造による大型品の量産対応
- ・高品質の鑄造ニーズ：**増加**
自動車メーカー各社からダイキャスト同等の品質要求
- ・「低圧鑄造」のための設備導入の推進



低圧鑄造とは？

型に溶融金属を低圧・低速で注入することで鑄物を成形する加工方法。

金属を低速で注入するため時間効率が悪いという弱点もあるが、「鑄巣」と呼ばれる内部欠陥の少ない高強度な製品を作ることが可能。

JMC
MADE BY JMC

7 Appendix

会社概要



- 【 会 社 名 】 株式会社JMC
- 【 設 立 】 1992年12月18日
- 【 資 本 金 】 807,609千円
- 【 上 場 市 場 】 東京証券取引所グロース(5704)
- 【 従 業 員 数 】 174名(臨時雇用者を含む)
- 【 代 表 者 】 代表取締役社長兼CEO 渡邊 大知
- 【 本 社 所 在 地 】 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目5番5号

ホームページのご案内



当社ホームページでは決算情報・プレスリリースのほか、各事業の詳しい内容を発信しています。

jmc-rp



www.jmc-rp.co.jp

工場紹介

コンセプトセンター 伊豆木
長野県飯田市
鑄造事業

コンセプトセンター 川路
長野県飯田市
鑄造事業、CT事業

ミーリングセンター
静岡県浜松市浜名区
鑄造事業

本社
神奈川県横浜市港北区
3Dプリンター事業
CT事業

AMセンター
神奈川県横浜市港北区
3Dプリンター事業

事業紹介



鑄造事業

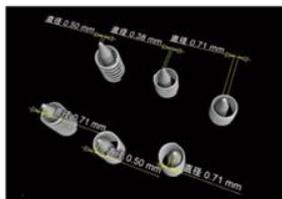
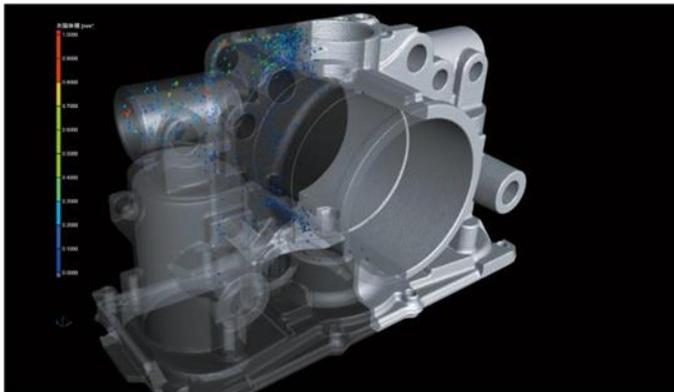
精密砂型鑄造による試作、量産を行っています。柔軟な材料対応力と、社内一貫生産による短納期対応、産業用CTを始めとする最新機器による高度な品質保証を特徴としています。



3Dプリンター事業

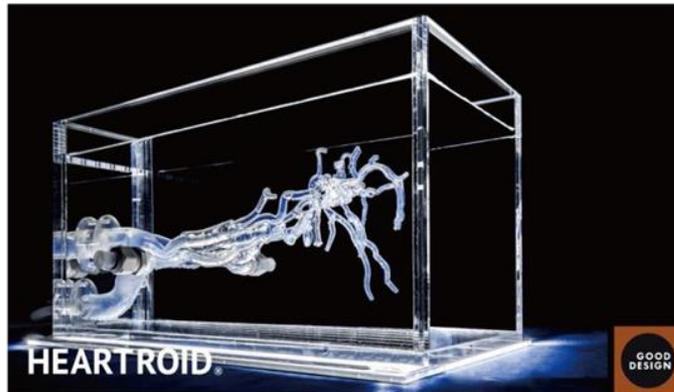
工業部品の試作やモックアップを3Dプリンターで製作するサービスを行っています。豊富なキャパシティで短納期化を実現します。また、2020年7月より3Dプリンターによる樹脂製品の量産サービスを開始しました。

事業紹介



CT事業

産業用CTスキャナを使用した三次元測定サービスを行っています。産業用CTは他の測定方法に比べ、複雑形状や複合部品のスキャンを得意としており、幅広い分野で活躍しています。



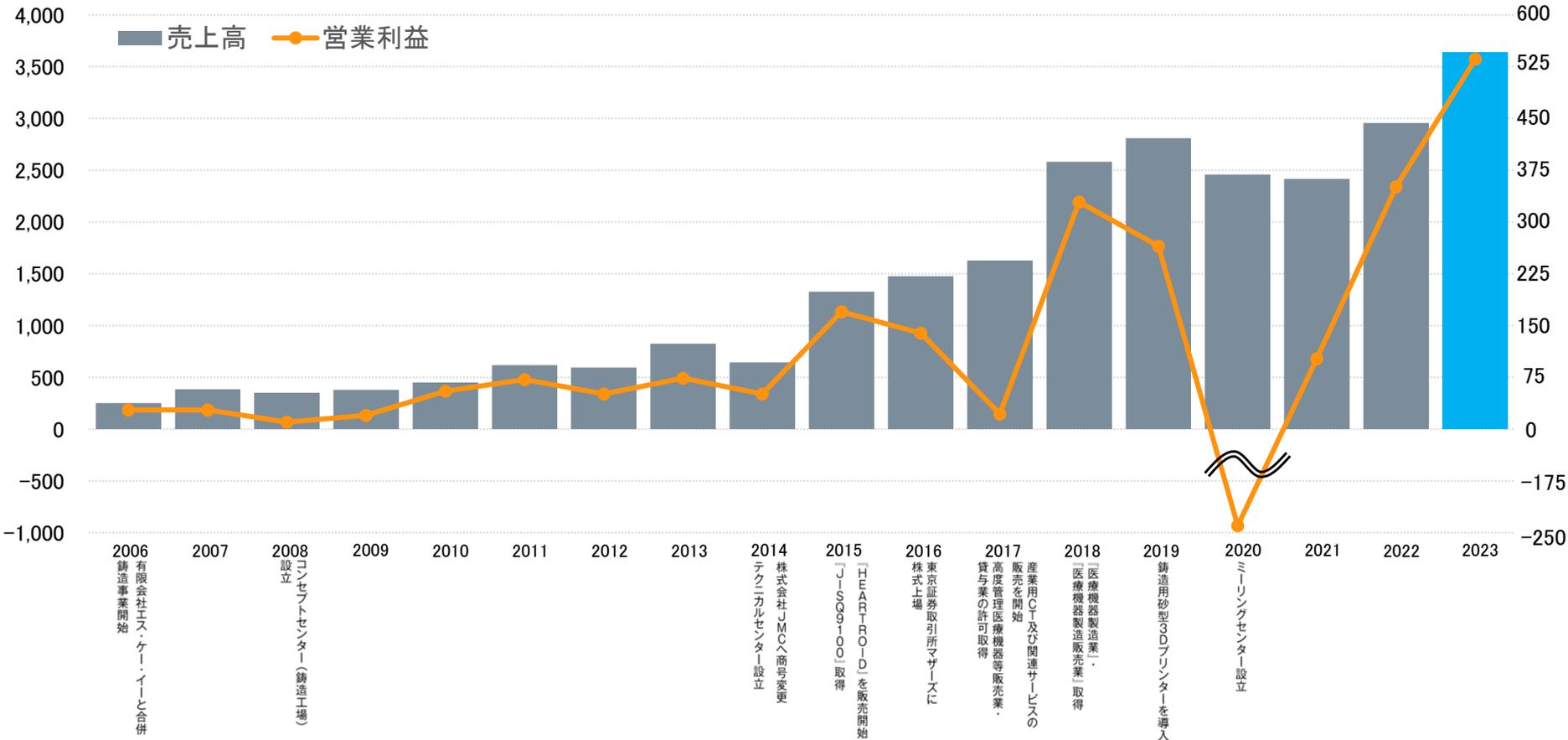
メディカル

心臓カテーテルシミュレーター「HEARTROID(ハートロイド)」をはじめとして、3Dプリンター技術を活用したオーダーメイドの臓器モデルや医療用シミュレーターを開発・製造し、治療技術の向上に寄与しています。

業績推移

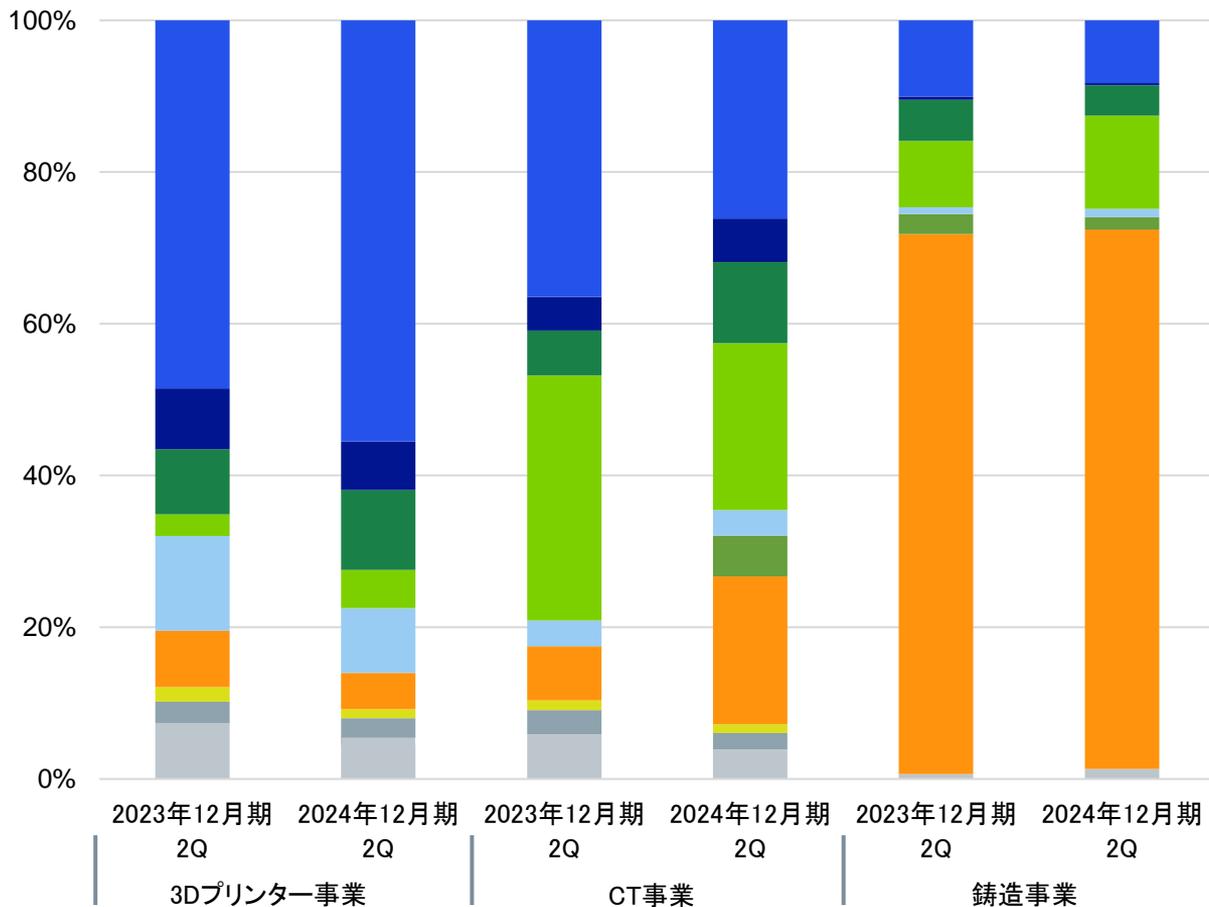
売上高(単位:百万円)

営業利益(単位:百万円)



産業別売上高比率

- 卸売業
- 専門サービス業
(他に分類されないもの)
- 電気機械器具製造業
- 輸送用機械器具製造業
- 精密機械・医療機械器具製造業
- 鉄鋼業, 非鉄金属製造業
- 一般機械器具製造業
- 化学工業
- その他の製造業
- その他の事業サービス業
- その他



お問い合わせ



JMC コーポレートサイト
jmc-rp.co.jp/



3Dプリンター出力サービス
3d-printout.com/



Additive Manufacturing
3d-printout.com/am/



砂型 casting
metal-casting.jp/



産業用CTスキャンサービス
jmc-ct.jp/



HEARTROID
heartroid.jp/



PZ
pz-vehicles.com



CT生物図鑑
ctseibutsu.jp/



3DiH 3D Innovation Hub
3dih.jp/



◆本件に関するご連絡先◆

株式会社JMC
経営企画室

電話番号:045-477-5751
E-mail:ir@jmc-rp.co.jp

(将来の見通しに関する注意事項)

本説明会および説明資料の内容は、発表日時点で入手可能な情報や判断に基づくものです。

将来発生する事象等により内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。

また、本説明会および説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、多分に不確定な要素を含んでいるため、実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。